

北清グループが取り組む 21世紀の廃棄物処理業の事業戦略



株式会社 北清
大嶋 武

北清グループのご紹介

「北の大地を清くする」の理念のもと、50年前に札幌で生まれた北清企業は、環境を守り、産業を支える使命のもと、時代の要請を見つめながら道内各都市及び九州のグループ12社で、新しい環境貢献企業をめざし、事業基盤の拡大に技術と理念のスクラムを強化しています。

【会社概要】

名称：北清企業株式会社
所在地：北海道札幌市東区北丘珠5条4丁目
創業：1969年3月 資本金：3,000万
従業員：135名
事業内容：一般・産廃(特管)収集運搬業、
産業廃棄物処分業(選別・破碎)
リサイクル・環境関連商材の販売、他



【北清グループ】

関連子会社12社、全従業員550名、年商55億

廃棄物の適正処理までの ワンストップ提案 **最終処分場**

★最終処分施設（管理型埋立）



●角山開発（株）赤平処分場 【埋立容量126,744m³】
浸出処理水を外に出さない簡易型クロズド方式

●北清えさし（株）えさし処分場
【埋立容量168,868m³】

★最終処分施設（安定型埋立）



●北清ふらの（株）ふらの処分場 【197,514m³】

廃棄物の適正処理までの ワンストップ提案 **焼却処理**

★中間処理施設（焼却炉）



- 九州北清（株）【溶融キルン式100t/日】ダイオキシン対応の無害化溶融処理技術・余熱の発電利用



- 角山開発（株）【特殊ストーカー式42.6t/日】

廃棄物の資源リサイクルまでの ワンストップ提案 **選別・破碎**

★中間処理施設（混合廃棄物選別施設）



- 角山開発（株）【混合廃棄物選別 560m³/日】
混合廃棄物（産廃・建廃）を重量物・軽量物・土砂等の砂粒物に分別し各資源化へ

★中間処理施設（再生資源化施設）



- 角山開発（株）【木くず破碎 155.84 t /日】
- 角山開発（株）【コンクリート・ガラ破碎 1,280 t /日】

廃棄物の資源リサイクルまでの ワンストップ提案 **選別・破碎**

★中間処分場（固形化燃料RPF）



●北清企業（株）【固形化燃料 16.6 t/日】



●角山開発（株）【固形化燃料 45 t/日】



●北清企業（株）【石膏ボード破碎選別 45m³/日】



●北清ふらの【紙オムツ破碎選別 600kg/日】



地域との共生で生まれる 社会貢献・環境貢献



●埋立処分場の跡地利用で72ホールの国際認定のパークゴルフ場

～地域の憩いの場～



●北海道胆振東部地震：災害廃棄物処理の支援（延べ58日・車両130台・作業員182名・1,143 t 搬出処理）

2018年9月一般社団法人「日本災害対応システムズ」加盟

北清グループの実績・ノウハウを 活かした技術・知識の新たな**総合提案**

- これまで50年の実績から多くの実績・ノウハウを蓄積して来た北清グループの強味は、550人を擁する**豊富な人材の技術と知識**
- 人的経営資源と共に廃棄物の収集の機動力と処理・リサイクルの各種施設を活用しての総合提案が**21世紀の北清のあるべき立ち位置**
- 一般廃棄物処理の行政連携・公共関係施設への収集運搬から処理までのPFI事業や協力等、施設運転管理に於けるDBO事業への**技術と人材提案**、産業廃棄物処理の民間企業との相互の強味を活かした**新規事業化や企業の連携システムの構築、組合、法人組織化**

【事業戦略の方向性】

北清グループが持つ経営資源を一つにし、新たな21世紀に求められる機動力・総合力を持った廃棄物処理にワンストップの技術提案

北清グループが取り組む廃棄物処理から モノづくり資源循環業への取り組み

新築系廃石膏ボードを中心に破砕・粉砕、石膏粉・紙を 分離して各種リサイクル（石膏再生協同組合に加盟）

- ☆平成20年：チヨダウーテ（株）様との広域再生指定工場の認定（環境省）
- ☆平成22年：グランドライン材で北海道ゼロエミ大賞優秀賞受賞（北海道庁）
- ☆平成23年：グランドライン材で循環型社会推進功労者環境大臣賞受賞（環境省）
- 全国石膏ボードリサイクル協議会が「**再生石膏粉の有効利用ガイドライン**」
- 国立環境研究所が「**廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装**」
 - 技術・施工・品質基準の作成と安全基準確保の為のマニュアル作成
 - 国の指針の早期作成（建設リサイクル法：特定建設資材の検討）

2013年「北海道リサイクル石膏研究会」設立・2018年7月「再生石膏協同組合」加盟



北海道に於ける農業用土壌改良材に 於けるリサイクル石膏の効果と可能性

カルシウム効果・硫黄効果

- 連作障害の改善
- PH矯正・強酸性下層土の改善
- 塩類土壌の改良やアルカリ土壌改良



中性・水溶性 (水の溶解度0.263・石灰の170倍)

- 深根性の地中深くから栄養素を取る稲・ゴボウ・ネギ・玉ネギ・長芋・じゃがいも等の吸収率に効果
- 生育期に継続的補給をすることにより作物成長を促進活性化



「再生石膏を用いた農業用土壌改良材の環境安全品質ガイドライン」

(再生石膏共同組合によるガイドラインの制定)

環境安全品質基準の充実

アスベスト/ヒ素/カドミウムを含有する有害石膏ボードの排除・硫化水素の対応・農用地土壌のPH対応・異物混入・重金属に対する製品品質・品質検査方法 等



リサイクル石膏を60%利用した 非焼成型の調湿建材タイルの施工例

高調湿機能で光触媒を付与した非焼成デザインタイルを製品化

支笏湖鶴賀リゾートスパ「水の詩」



定山溪鶴賀リゾートスパ「森の詩」



社会福祉法人 各施設



民間バリアフリーホテル



北清グループが取り組む 新事業モデル：高齡化ビジネス①②

【社会的な背景】

- 少子高齡化：高齡化に伴う産業・経済が活発…>施設増加・医療費増加・空き家増加

【廃棄物処理業界の行方】

- 人口減少・経済活動が鈍化する中で廃棄物は減少する。企業から個人へ、サービス充実
- 廃棄物の発生量は減少するが、伸びている部門は？…>高齡化社会に関わる廃棄物

【高齡化に於ける新ビジネス】

- 空き家解体・残置物や不用品処理・遺品整理・家屋や土地の売買・財産整理や管理処分
大人用おむつ処理…>環境負荷低減・高齡化社会対応・持続可能社会<…環境ビジネス

【自治体・行政の問題】 (耐用年数20年を超える焼却炉の稼働52%：環境省1141ヶ所を調査)

- 家庭から発生する不用品は**家庭系一般廃棄物** (多分別排出・市町村ルール・高齡で排出不可・他) 許可業者以外の不適正処理 (便利屋・未許可業者) が増大
- 高齡化施設及び病院から発生する**使用済み紙おむつ**は**事業系一般廃棄物** (一部市町村では産廃扱い) となるが処理困難物としてクローズアップ (焼却炉の不足・炉内ダメージ・水分多く燃料費高騰)

① 高齢化シニア事業

おうち生き活きサポートワン

【不要品・遺品整理から空家解体、土地活用までワンストップ提案】

- 生き活きサポーター（女性）によるお客様想いを大切にサポート
- 高齢者向けの生き活きサポート3つのサポートメニュー
 - ① 「片付け処理」（片付け・整理・清掃・買取・処分）
 - ② 「解体処理」（手続き・解体・土地活用）
 - ③ 「不動産処理」（建物・不動産売買・資産運用）



【「B+B to C」の異業種連携(本業プラス@相乗)で総合サポート】

- 住宅メーカー・不動産管理・葬儀場・高齢者施設・病院・引越業者・リサイクルショップ・トランクルーム・ドラッグストアとの連携
- シニア事業団体・協会・NPO・組織とのネットワーク
- 北海道空き家戸数33万8200件（札幌市：14万2160件、道内36.6%）
- 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の新法整備



2015年6月一般社団法人「遺品整理士認定協会」加盟

②高齡化シニア事業

使用済み紙おむつリサイクル

【未利用資源・地域エネルギー】

- 2013年8月 富良野市より事業系一般廃棄物の使用済み紙おむつの許可取得
- 2013年8月 富良野圏域の5市町村で衛生用品の燃料化利用の資源化実証試験
- 2015年4月 富良野市より一般廃棄物の収集・処分許可委託
- 2013年8月 北海道循環資源利用促進協議会にて
使用済み「紙おむつ」燃料化WG設立



【使用済み紙おむつリサイクルの国内各社の動き】

【おむつメーカーの取組】 王子ネピア（株）・ユニチャーム（株）

- 年間生産量：83万トン・220億枚（2016年経済産業省生産動態統計年報）

【環境機器メーカーの取組】 トータルケアシステム（株）・（株）スーパーフェイズ

- 廃棄物量は汚物を含み、4倍の320万トン

2011年9月一般社団法人「日本RPF工業会」加盟

2017年5月一般社団法人「Nippon紙おむつリサイクル推進協会」設立

自治体、病院・高齢者施設に対し、技術的な助言指導を行い、
リサイクルシステムの構築を啓蒙普及、各種情報の発信
（環境省と処理ガイドラインの検討）



北清グループの新たなモノづくりと 資源・エネルギー提案

- 21世紀の社会は「環境」を大切にして「経済」が動いてくる時代
SDGsを始め地球環境の変化に合わせた環境ビジネス見直しの時代
- 21世紀の廃棄物処理業は廃棄物処理のワンウェイの時代から、廃棄物を地域の資源・エネルギーに循環させるリターンの時代。環境効率（資源効率・エネルギー効率）向上に寄与する事が、21世紀の北清グループの使命
- 北清グループは資源循環・エネルギー展開に向け、廃棄物に価値を与え、モノづくりの作り手から使い手・活かし手と連携し、強みを活かして付加価値・顧客満足への質の差別化戦略を考える

【事業戦略の方向性】

今後、廃棄物発生量が減少する中、新たな市場の創造に向けて、公設試との研究開発及び成果技術を活かし、産官学との異業種連携での廃棄物から資源・エネルギーへの利活用に向けての体制づくりと北清ブランドの構築



21世紀型環境貢献企業として 安心をもっと未来に

**「地球は親からのもらい物ではなく、
子供たちからの預かり物」**

ご清聴ありがとうございました。